





# 福島第一原子力発電所

## 3号機燃料吊り上げ試験の実施状況について（速報）

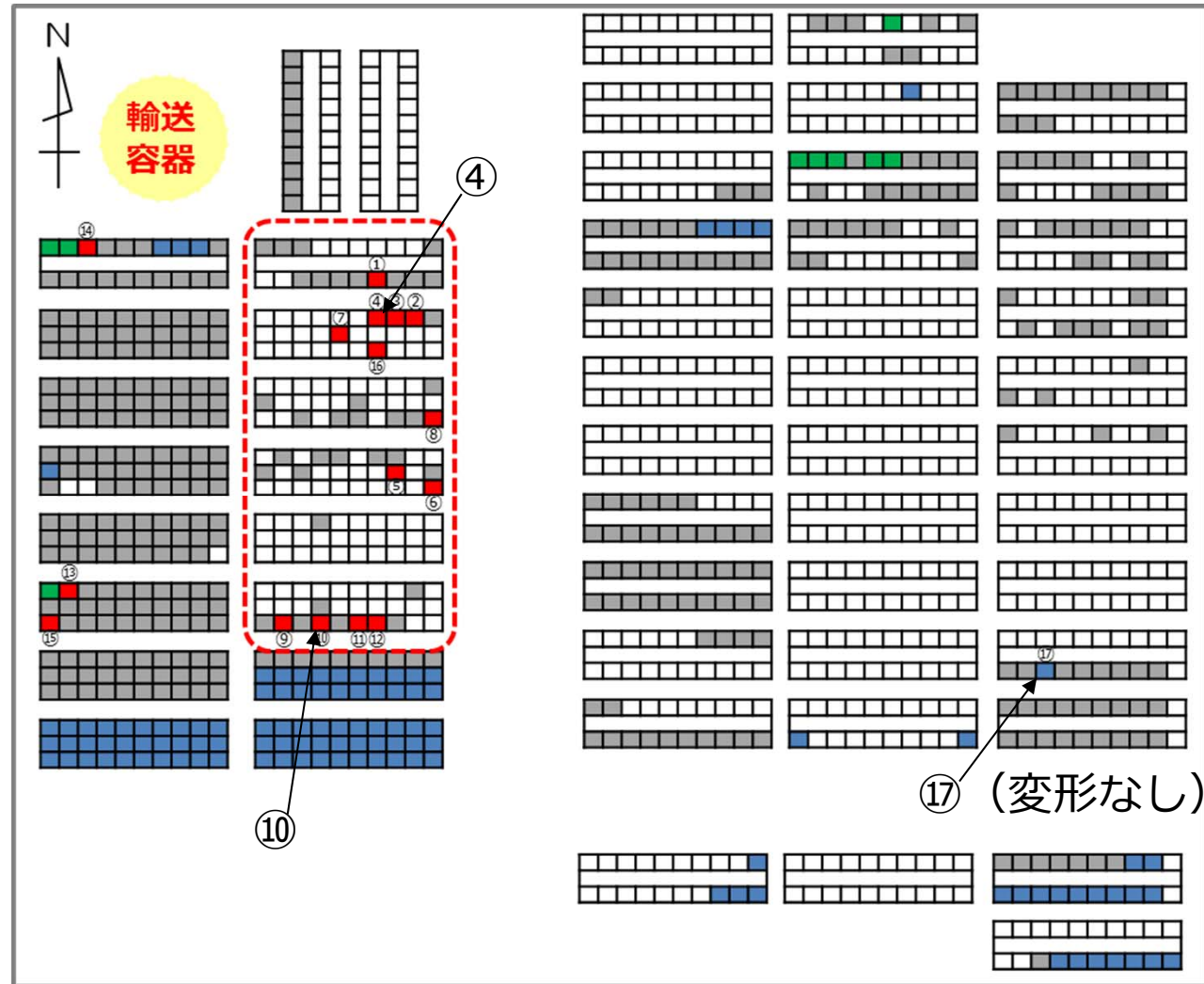
< 参 考 資 料 >  
 2 0 2 0 年 1 1 月 1 6 日  
 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー

- 10月23日より3号機使用済燃料プールにおいて、燃料4体を対象に規定荷重1,000kgによる吊り上げ試験を開始しており、10月23日に燃料3体（④⑩⑪）を対象に試験を実施し、燃料1体（⑪）の燃料が吊り上げができることを確認しました。（10月26日お知らせ済み）
- その後、小ガレキ撤去ツールを用いてチャンネルボックスと収納ラックの間にあるガレキを撤去したうえで11月13日に燃料3体（④⑩⑰）を対象に試験を実施し、燃料1体（④）について、吊り上げができることを確認しました。燃料④は吊り上げ後、下降しない状態で燃料ラックに収まっていますが、吊り上げの高さは数cm程度であり、問題ない状態です。（ガレキが燃料の下部に混入したと推定。仮にガレキの干渉が自然解消して燃料が元の位置まで動いても燃料に影響が出ないことは解析により評価済み。）
- 吊り上がらなかった2体の燃料（⑩⑰）について、燃料取り出し作業の空き時間を利用し、改めて小ガレキ撤去ツールを適用のうえ、再度吊り上げ試験を実施する予定です。（作業進捗を見ながら日程は調整）

分類	ハンドル変形燃料(3体)			変形なし(1体)
写真				
場所	④	⑩	⑪	⑰
吊り上げ可否	○ (11/13)	× (継続)	○ (前回完了)	× (継続)
付与荷重※	約900kg	約950kg	約800kg	約950kg

※：一度の操作で荷重が100～300kg程度上昇するため、1000kgの手前で止めている

# 【参考】燃料配置図



- : ガレキ撤去完了
- : 燃料ハンドル目視確認完了
- : ハンドル変形を確認【16体】
- : 燃料取出済
- : 燃料が入っていないラック
- : 燃料交換機, コンクリートハッチが落下したエリア